

## となん公開講座 H29. 8. 3(木)

今年度のとなん公開講座は、講演、自立活動遊具体験、ボッチャ体験、スイッチ等体験、教材教具展、業者展示・販売、研究ポスター発表のコーナーを設けて実施され、本校児童生徒・保護者6名、小中学校児童生徒・保護者4名、小中学校職員13名、施設関係者8名、他校特別支援学校職員9名、本校職員95名の合計135名の参加がありました。

講演では、弁護士で差別解消法の検討員もされている大谷恭子さんに障がい者と健常者が共生する社会の実現の必要性について、大変分かりやすくお話ししていただきました。ボッチャコーナーでは、本校生徒が出場した「ボッチャ甲子園」の様子も紹介し、実際に二種類のボッチャを来場者に体験してもらいました。スイッチ体験コーナーでは、iPadタッチャーを展示し、何通りかのソフトを稼働させて、スイッチを付けて体験してもらいました。業者販売コーナーでは、書籍販売の他、介護用食器具や食品サンプルの展示がありました。自立活動室遊具体験では、小中学生の参加が少なかったため、体験者は少なかったものの、その分思う存分遊ぶことができたお子さんもいました。参加者からの感想には「明日からの指導に生かせる」「参考になった」などの声が多く聞かれました。



～業者販売～



～講演会の様子～



### 生活支援懇話会 10/20(金)

今年度はもりおか障害者自立支援プラザの所長兼相談支援専門員である さるだて ひろし 猿舘 寛 さんを迎え、障害福祉サービスの概要やサービス等利用計画の作成の流れ、さらには猿舘さんが実際に作成した計画をいくつか事例として紹介していただきました。参加された保護者のみなさんは特にサービス等利用計画の事例について関心を持たれていた様子で、猿舘さんの分かりやすいお話に真剣に耳を傾けていました。

講話の最後に猿舘さんがお話しになった「地域の中に本人のサポーターをいっぱい作ろう！」という言葉が印象的でした。いつかは使いたいと思っているだけでなく、本人さらには家族にとってどんな暮らしが良いのかよく考え、積極的に地域資源を活用していく姿勢が大切ということでした。



### Ipadを使って学習しています！ ☆小学部の活用事例☆

今回は、小学部の児童のiPadを使った学習の様子について、ご紹介いたします。

国語と算数の教科書をiPadで見たり、スクロールすることで、ページをめくったりして、学習活動に取り組んでいる児童がおります。自分でページをめくることができたり、教科書を見やすく変えたりすることで、いつも以上に張り切って取り組む様子が見られています。

文字の色を黒から白へ変えたり、文字のフォントを変更したりすることや、横書き・縦書きを選ぶことができます。

